





ひまわりクリニックきょうごく

ひまわり便り 第17号

屋外での活動が増えるこの季節には、虫に刺されることも多くなります。虫さされで病気を媒介する（媒介：伝染病をとりもってしまう）虫もいますので紹介します。

| 名称 | マダニ  | コガタアカイエカ  |
|---|--|---|
| 生息地域  | 日本全域。 シカやイノシシ、野ウサギなどの野生生物が出没する環境に多く生息しています。 民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などの身近な場所にも生息しています。 | 西日本を中心に生息しています。  |
| 咬まれるとどうなる？ (症状など)  | 咬まれてから1～2週間で、発熱、食欲低下、吐き気、嘔吐、腹痛、頭痛、筋肉痛、意識障害などを起こす可能性があります。 場合により脳炎や重症熱性血小板減少症になる可能性があります。 | 咬まれてから1～2週間で、 高熱、頭痛、悪心、めまい、嘔吐 などを生じます。 感染したら、100人から1000人に1人の確率で日本脳炎になります。日本脳炎になった場合は、死亡率は20～40%と高いです。 |
| 予防方法は？  | 野外では、腕・足・首などの肌の露出を少なくしましょう。 ・首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着る。 ・シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れる。 ・シャツの裾はズボンの中に入れる。 ・ズボンの裾は長靴の中や靴下の中に入れる。 | 日本脳炎ワクチンを接種することが有効です。 修学旅行や旅行等で西日本に行かれる際には、日本脳炎の予防をオススメします！ |

マダニに刺されても痛みや痒みを感じず、刺されたこと自体気づきにくいことも特徴です。

もし、咬まれていることに気づいたら、慌てて手で引っ張ろうとしないで下さい。マダニは皮膚の奥深くまで口を刺して吸血しているので、無理矢理引きはがそうとすると、マダニの口部分が皮膚内に残り二次感染を起こします。

マダニに咬まれていることに気づいたら、触らずに早めに皮膚科を受診するようして下さい。ひまわりクリニックでも対処することができます。

虫から身を守るための予防を取り入れながら、屋外活動を楽しみましょう！！

